

第1回代表者会議 議事録

2010年7月10日(土) 市民文化会館

出席(順不動)

武里南、粕壁、武里、内牧、八木崎、小淵、幸松、緑、立野、上沖、豊野
父母16名、事務局4名

1. 事務局より連絡

連絡会の年間計画では6月26日に代表者会議を予定しており、保育課に出席をお願いしたが、ほぼ近い日程で社協主宰の父母懇談会があるため、「父母への説明はそちらで十分」との判断から、連絡会の代表者会議への参加は断られた。更に、社協主宰の懇談会への事務局メンバーの参加もお願いしたが、これも断られた。

社協の会議は年2回(6月、11月頃)を予定しており、例年行なっている対市交渉の時期と重なる可能性が高く、対市交渉自体も断られるかもしれない。

今後、年間計画の日程が変わる可能性があるので、あらかじめ了承いただきたい。

2. 放課後児童クラブの実情(土井)

配布資料(1)参照。

1) 春日部市における学童保育の歴史

増設時代を経て、高学年も何とか入れるようになった。

今後は、保育の質が問われる時代。

2) 民設時代と現在の違い

各立場の要望をどこに伝えるのか? 指定管理の場合、伝わりにくい構造になっている。

3) 指定管理者制度の問題点

人件費が多くを占める保育関連事業に対して、指定管理者制度はなじまない。

行政からも慎重な意見が出ている。

4) 訴え続けることで少しずつ改善してきた環境

市の条例では3年生までだが、何とか6年生まで受け入れてもらっている。

国や県に対し、国の連絡協議会、県の連絡協議会が働きかけ、協力して学童を良くしようと頑張っている。実質は協議会側が多くのノウハウを持っており、これがベースとなって学童保育が発達してきた。

春日部市においては、どうも連絡会に冷たい。

<質疑>

(豊野) 始めて会長になり、そもそも連絡会の意義がよく分からない。

(事務局) 父母会同士の交流、情報交換の場として、また、父母会の役員は年々代わるので、情報の継承をお手伝いする機関として活動。

3. 社協主宰の運営連絡会(6月27日)を振り返る

配布資料(2)参照。

1) 父母会で備品を購入することについて

(事務局) 県の運営基準に、必需品として「洗濯機」も「テレビ」も列挙されている。

必要と思われるものは、あきらめずをお願いしていく。

それでもだめな場合は、父母会で購入するのも必要な手段。

(八木崎) テレビは、ビデオやDVDを見る「モニター」としてなら、配置してくれそうだった。

2) 3) おやつ代関係

(豊野) 1500円の他に別途集めている事を言ったら、「聞いていない」として拒否された。

他のクラブはどうしているのか？

(内牧) 以前から1500円でやっていたのでさほど変わらない。生協の他にも、近所のスーパーが伝票可になったので良かった。

(八木崎) 元々1800円だったので、量は少なくなった。お誕生会のケーキ代として、今まではおやつ代から賄っていたが、1500円では苦しいので別途年間10000円を父母会費から補充した。

シャトレーゼだけでは子どもたちが飽きるので、買える店を増やして欲しいと言っており、社協の担当者がヨーカドーと交渉してくれるそう。

(事務) クラブ間で参考に出来そうなので、今後アンケートを取って調べてみたい。

4) 父母会の負担を理由にやめる父母がいる事について

途中から、父母会全般の悩みについて意見交換に発展

(事務局) 本来、子どものため、親のためにある父母会である事が理想。協力的な親もいればそうでない親も必ずいる。家庭の事情も違うので、杓子定規ではなく、「出来ること」で良いので協力してもらう様、配慮が必要。

(立野) そもそも「父母会」とは何を目指すのか？ どうやるのが良いのかなど、判らない。

ガイドラインの様なものは出せないか？

(事務局) 基本的に、父母会は任意団体であり、父母の意思で作るので決めるのは父母。しかし、全国連協から「父母会ハンドブック」も出版されており、参考になるやり方は紹介されている。希望があれば今後連絡会でも取り上げることはできる。

(武里南) くじ引きで会長が決まるが、いざ活動をしようとしても何をすれば良いのか判らず、途方にくれる。前年の役員からの引継ぎも無く、文書も残っていない。父母会費の金額については前年にアンケートを取ったが、実際どうするかは決まっていないうまで受け継いでしまった。

おやつ代が引き落としになったので集める父母会費が少なくなり、「毎月集めなくてもいいのでは」という事で、定例会の回数を減らす事も検討中。

(内牧) 父母会活動の仕方は総会資料に全部添付している。規約から予算、各行事のやり方など。毎年何かをしようとするのではなく、毎年同じ事をやるという感じ。誰も「新しいことをやってくれ」とは望んでいない。

(豊野) 初めて会長になって、やはり引継ぎが無くてどうすればよいかよく分からない。

(内牧) 意見を入れるポストを置いている。

(八木崎) コミュニケーションがとても大切。特に役員同士で分かり合っていないと困る。時々食事をしながらとか、出来る限り交流する様にしている。

会長は雑用係のようなものと思う。

(内牧) こまめにアンケートを取って意見を募る。半分くらいしか回答が無いが、回答してくれた人の意見を反映し、結果もちゃんと掲示する。

(武里) 子どもの数が減っており、当然保護者も少ない。入室説明会すら、半分しか来なかった。「役員をやらされる」と警戒しての事かもしれない。

父母会に出ない人ほどクレームが多い様に思う。

直接話し合う以外にも、ネットやスカイプなど、いろんな媒体を利用した学童のコミュニティーがあっても良いと思う。

- (粕壁) 2人の会長が選ばれたが、1人が転居してしまった。やり方もわからず、途方にくれた。学童まつり中止のおかげで、「副会長なら」と言って手伝ってくれる方がいて助かった。
- (八木崎) 今回参加してみて、「いろんなクラブがあるんだな」と思った。いろんな行事をやった方が楽しい。資料だけではわからない面もあるので、役員とかは直接コミュニケーションを取る事が大切だと思う。
- (上沖) 連絡網を変えようとしている。メール一斉配信を使おうとしているが、他のクラブは？
- (八木崎) 広告付きの無料配信を使い始めた。登録等に時間がかかり、実際に活用できるまで数ヶ月かかった。
- (幸松) 父母会の活動は、年度末に全て決める。
- (事務局) アンケートにしても何にしても、次の年度の活動について1～3月頃に決めておく必要はあると思う。年度が変わってから1年生の父母の意見を聞いても「よく分からない」のが現実。初年度は「よく分からない」まま参加してもらい、次の年度の活動計画を作るときに意見を反映させれば良い。

4．最後に、事務局より

社協の会議が行なわれ、また11月頃にも実施される見込み。これらがあるから、「連絡会は不要ではないか」という考えが出てくるのではないかと心配だったが、今日の話し合いを聞いて安心し、とても心強く思う。(社協の)11月の会議は、例年だと対市交渉を行なっている時期になると思うので、その前(9～10月)に代表者会議を行い、11月の会議で何を要望していくべきか、意見をまとめておく必要があると思う。次回もよろしく願いたい。

何か取り上げてもらいたい案件があれば、事務局までご一報を！

以上